

土木工事の施工管理基準 及び規格値

令和6年4月

大分県土木建築部

大分県農林水産部

目 次

土木工事の施工管理基準及び規格値	総 - 1
1. 工 程 管 理	1 - 1
(1) 工程管理基準	1 - 1
(2) 工事履行報告	1 - 1
(3) 実施工程表の作成	1 - 1
(4) 工程表の大きさ	1 - 1
(5) 計画工程表の作成にあたり考慮すべき事項	1 - 1
工事月報及び工事履行報告書作成要領	1 - 2
2. 出 来 形 管 理	
(1) 出来形管理基準及び規格値	
・ 目 次	2-目-1
・ 共 通 編	2 - 1
・ 土木工事共通編	2 - 8
・ 港 湾 編	2 -92
・ 港 湾 海 岸 編 (港湾編準用)	
・ 河 川 編	2 -101
・ 河 川 海 岸 編	2 -107
・ 砂 防 編	2 -114
・ ダ ム 編	2 -119
・ 道 路 編	2 -124
・ 農業農村整備編	2 -150
・ 森 林 土 木 編	2 -178
・ 漁 港 漁 場 編	2 -190
・ 「多自然川づくり施工管理基準(案)」の要点及び運用について	2 -202
3. 写 真 管 理	
(1) 写真管理基準	3-総-1
(2) 工事写真の分類	3-総-1
(3) 工事写真の撮影及び提出頻度	3-総-1
(4) 情報化施工及び3次元データによる施工管理	3-総-1
(5) 工事写真の省略	3-総-1
(6) 工事写真の編集等	3-総-2
(7) 工事写真の色彩	3-総-2
(8) 工事写真の大きさ	3-総-2
(9) 工事写真帳の大きさ	3-総-2
(10) 工事写真の提出部数及び形式	3-総-2
(11) 工事写真の整理方法	3-総-2
(12) 写真管理における留意事項	3-総-2

(13) 目次	3-目-1
(14) 撮影箇所一覧表	3 - 1

4. 品質管理

(1) 品質管理基準	4 - 1
(2) 品質管理	4 - 1
(3) 品質管理の方法	4 - 1
(4) 管理資料のまとめ方	4 - 1
(5) 公的試験機関	4 - 1
(6) 骨材・土質関係試験書の有効期間	4 - 2
(7) 試験書について	4 - 2
(8) 品質管理基準及び規格値	4 - 3
目次	4 - 4
(9) コンクリート試験（圧縮・曲げ強度）の流れ	4 - 31
(10) コンクリートの圧縮強度試験、スランプ試験、空気量測定試験基準について	4 - 32
(11) 公的試験機関及び補完する試験機関の試験項目	4 - 33

※ 下記項目の作成については、別に定める「**土木工事施工管理の手引**」による。

詳細は大分県ホームページを参照 (<http://www.pref.oita.jp/soshiki/18720/tebiki31.html>)

- 1) 施工計画書作成の手引
- 2) 工事に係る提出資料
- 3) 設計図書の照査・工事測量の成果
- 4) 工程管理
- 5) 品質管理
- 6) 出来形管理
- 7) 写真管理
- 8) 安全管理
- 9) 参考資料

土木工事の施工管理基準及び規格値

1. 目 的

土木工事の施工管理基準及び規格値（以下、「管理基準」とする。）は、土木工事共通仕様書第1編1-1-23「施工管理」に規定する土木工事の施工管理及び規格値の基準を定めたものである。

この管理基準は、土木工事の施工について、**契約図書**に定められた工期、工事目的物の出来形及び品質の確保と、円滑かつ合理的な施工の確保を図ることを目的とする。

2. 適 用

この管理基準は、大分県農林水産部及び土木建築部が発注する土木請負工事に適用する。ただし、**設計図書**に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。

また、工事の種類、施工条件等により、この基準によりがたい場合、または、基準、規格値が定められていない工種については、監督員と**協議**の上、施工管理を行うものとする。

3. 規 格 値

- (1) 規格値とは、設計数値と出来上がり数値との差の許容限界をいう。
- (2) 原則として個々の測定値はすべて規格値の範囲内になければならない。
- (3) 規格値は、個々の測定値に対するもので、その平均値（延長については合計延長、面積については合計面積）は設計数値を下廻ってはならない。
(注) ダム、擁壁等で全延長がマイナス規格となっているもの、上流側、センター下流側の平均値は設計数値以上でなければならない。
- (4) 構造物の法勾配について、規格値が示されていないものについては、設計数値以上とする。ただし、高さ、幅等個々の規格値を満たさなければならない。
- (5) 切土、盛土の法勾配については、設計数値以上とし、労働安全衛生規則を満たさなければならない。

4. 管 理 基 準

施工管理の基準は次のとおりとする。

- (1) 工 程 管 理
- (2) 出来形管理
- (3) 写 真 管 理
- (4) 品 質 管 理

5. 管 理 の 実 施

- (1) 受注者は、施工管理を実施するに当って施工管理担当者を定め監督員に**届け出**なければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を掌握し、常に適切な管理を行わなければならない。
- (3) 受注者は、測定（試験）等は、工事の施工と並行して速やかに実施し、管理の目的が達せられるようにしなければならない。

- (4) 受注者は、測定（試験）等の結果は、その都度逐次管理図表、出来形図、工程能力図及び同付表等に記録しておかなければならない。
- (5) 受注者は、側定値及び試験値が著しく偏向する場合、バラツキが大きい場合又は規格値を外れる場合は、受注者の負担でその原因を追求し、監督員と**協議**のうえ、手直し、補強、やり直し等の処理を行わなければならない。
- (6) 受注者は、出来形確認、中間検査及び完成検査に際して管理図表、出来形図表並びに工所用材等の品質証明書（正本）及び試験結果報告書（正本）等を監督員に**提出**しなければならない。
- (7) 施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定（試験）基準を設定するものとする。
なお、これにより難しい場合は、監督職員と**協議**しなければならない。

6. 管理項目及び方法

- (1) 工程管理
工程管理は、監督員に提出した**計画工程表**により工事の進捗を管理するものとする。
- (2) 出来形管理
出来形管理は、設計数値と実測値とを対比して記録した出来形管理図表又は出来形図を作成し、別に定める「**出来形管理基準及び規格値**」に基づき管理するものとする。
なお、測定基準において測定箇所数「〇〇につき1箇所」となっている項目については、小数点以下を切り上げた箇所数を測定するものとする。
- (3) 写真管理
写真管理は、工事着手前の状況、施工段階及び完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、材料の寸法及び品質、並びに安全管理状況及び工事中の災害状況を別に定める「**写真管理基準**」に基づき管理するものとする。
- (4) 品質管理
品質管理は、別に定める「**品質管理基準及び規格値**」に基づき管理するものとする。

7. その他

- (1) 情報化施工
10,000m³以上の土工の出来形管理については、「情報化施工技術の使用原則化について」（平成25年3月15日付け国官技第291号、国総公第133号）による。ただし、「TSを用いた出来形管理要領（土工編）」は「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）土工編」に読み替えるものとし、「TSを用いた出来形管理の監督・検査要領（河川土工編）」及び「TSを用いた出来形管理の監督・検査要領（道路土工編）」は「TS等光波方式を用いた出来形管理の監督・検査要領（土工編）（案）」に読み替えるものとする。
- (2) 3次元データによる出来形管理
ICT施工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」の規定によるものとする。
また、農業農村整備工事のほ場整備工事並びに管水路工事のICT施工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、「情報化施工技術の活用ガイドライン」の規

定によるものとする。

なお、ここでいう3次元データとは、工事目的物あるいは現地地形の形状を3次元空間上に再現するために必要なデータである。

(3) 施工箇所が点在する工事

施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定（試験）基準を設定するものとする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議しなければならない。

※1 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」については、国土交通省のホームページをご覧ください。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/constplan/content/001396085.pdf>

※2 「情報化施工技術の活用ガイドライン」については、農林水産省のホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/220812-2.pdf>

1. 工程管理

令和6年4月

1 工 程 管 理

(1) 工程管理基準

工程管理は、工事内容、工期及び現場の実情に応じて作成した**計画工程表**(バーチャート又はネットワーク)により**管理**するものとする。工事の種類、規模を問わずすべての工事について実施するものとする。また、**変更指示及び契約変更**があった場合は、**残工事に対する変更工程表**を作成するものとする。

(2) 工事履行報告

受注者は、工事請負契約約款第 11 条に規定する工事の**進捗状況を翌月 5 日迄**に、監督員に**報告**するものとする。なお履行報告の様式は後述の「工事月報及び工事履行報告書作成要領」に基づき作成するものとする。

(3) 実施工程表の作成

受注者は、計画工程に対する実施工程を管理するものとする。

- 1) 計画工程の**下段に赤書きで実施工程**を記入し対比する。
- 2) 変更指示、契約変更、出来形検査など特記すべき事項を記入する。

(4) 工程表の大きさ

工程表の大きさはA 4 判又はA 4 判の倍程度にまとめるものとする。

(5) 計画工程表作成にあたり考慮すべき事項

- ① 工事及び作業の制約
 - ・ 先行工事や後続工事の関連からの当該工事の着工、完了時期、施工方法。
 - ・ 現道工事等施工箇所^の立地条件による施工時期、施工時間、施工方法。
 - ・ 関係機関との協議、工事用地の確保、支障物件の撤去等の有無。
 - ・ 公害防止対策のための施工時間、施工方法。

等によっても、工事及び作業の制約を受けることがある。

- ② 環境(地形、地質、気象、水理等)を考慮した施工計画
- ③ 施工順序
- ④ 労務、機械の使用計画
- ⑤ 作業能力及び標準稼働時間の決定
- ⑥ 工事期間の作業可能日数の算定
- ⑦ 立会、段階確認(社内検査)の計画

工事月報及び工事履行報告書作成要領

1. 目的

工事請負契約約款第 11 条（履行報告）に、「受注者は、設計図書に定めるところにより、この契約の履行について発注者に報告しなければならない。」と規定されている。

そこで本章は、工事履行報告書及び基礎資料となる工事月報の作成要領を取りまとめたものである。

2. 作成上の留意点

2-1 工事月報

- (1) 工事月報は、受注者が作成し保管する。（原則提出不要。監督員が進捗状況の確認を必要とする場合には、指示書により提出を求める。）
- (2) 出来高数量は、契約数量が一式又は一式（ ）表示の場合は進捗年数量表示の場合は数量で記入する。
- (3) 累計出来高は進捗率を記入する。
- (4) 出来高数量は下記について確認できた数量とする。
 - ① 切土（掘削、積込、運搬）は運搬まで完了した土量。
 - ② 盛土（敷均し、転圧）は転圧まで完了した土量。
 - ③ 鉄筋工は組立が完了した鉄筋重量。
 - ④ コンクリートは打設完了後 1 週間以上経過し、所要強度の確認又は推定できたコンクリート立積。
 - ⑤ 型枠工は脱枠が完了した型枠面積。
 - ⑥ 仮設工（足場工、支保工、土留工、水替工等）で仮設期間が長期間に及ぶものは、その期間の進捗率を出来高に反映させる。
 - ⑦ その他出来高が確認できた数量。

2-2 工事履行報告書

- (1) 工事履行報告書は、受注者が工事月報を基に作成し、翌月 5 日迄に提出する。（監督員が確認する。）
- (2) 工事履行報告書の用紙規格は A-4 縦とする。
- (3) 状況写真を数枚程度添付する。
- (4) 実施工程表の添付は原則不要。中間前金払認定請求を行う場合のみ添付する。
- (5) 指示・承諾・協議書の添付は要しない。

3. 作成要領

3-1 工事月報

- (1) 工事月報の用紙規格は A-4 縦とする。

- (2) 対象費目は直接工事費とし、間接費は記入しなくてよい。
- (3) 契約数量は工事数量総括表の数量とし、当該月に変更指示があった場合は、当該月の契約数量の上段に（ ）朱書で記入する。一式契約の場合も工事内容に変更があった場合は、同じく上段に（一式）朱書で記入する。また、この記入は契約変更の前月まで続行する。また、この変更指示数量については、当該月に契約変更があったものとして計算する。
- (4) 出来高数量は概算でよい。
- (5) 記事欄については下記事項を記入する。
 - ① 変更指示内容（指示年月日、番号、指示数量）
 - ② 工事中止及び解除内容（通知年月日・中止期間等）
 - ③ 災害、事故その他特記すべき重要事項
- (6) 出来高進捗率の算出手順を下記に示す。次ページ出来高進捗率の算出例及び月報作成例を加え参照されたい。
 - ① 各工種内訳金額は工事請負者の見積金額とし、直接工事費を算出する。
 - ② 直接工事費を100%として、工種、種別、細別、の順に順次構成率を算出する。
(2) → (3) → (4)
 - ③ 各細別（又は種別）の当該月までの出来高数量及び契約数量が一式又は一式（ ）の場合は、積み上げ計算により進捗率を算出し(5)に記入する。
 - ④ 各細別(又は種別)の契約数量に対する出来高数量の進捗率を算出して(6)に記入する。この場合契約数量が一式又は一式（ ）の場合は、その進捗率をそのまま記入する。この数値を月報の細別（又は種別）の累計出来高欄に記入する。
 - ⑤ 各細別の出来高構成率(7)を算出する。
 - ⑥ 一つの種別に複数の細別がある場合は、細別(7)を集計(8)し、当該種別の構成率に対する出来高進捗率(9)を算出する。この数値を月報の種別の累計出来高欄に記入する。又、細別を含まない種別は、当該種別の出来高構成率(8)を算出する。
 - ⑦ 一つの工種に複数の種別がある場合は、種別(8)の集計(10)及び当該工種の構成率に対する出来高進捗率を算出する。この数値を月報の工種の累計出来高欄に記入する。
 - ⑧ 各工種(10)を累計(12)する。これが直接工事費の出来高進捗率となる。この数値を月報の直接工事費の累計出来高欄に記入する。

3-2 工事履行報告書

- (1) 工事履行報告書の用紙規格はA-4縦とする。
- (2) 施工計画書作成時に作成される計画工程表で、あらかじめ各月の出来高予定を計算しておき、予定工程の欄に記入する。
- (3) 前項の工事月報で算出された出来高を実施工程の欄に記入する。尚、共通仮設費（積上げ分）の占める割合が大きい場合は別途考慮する。

4. 作成例

作成例については次頁に示す。

出来高進捗率の算出例

工種	種別	細別	単 位	契約数量 (1),	見積額 (千円)	構成率			累計出来高		細別 出来高 構成率(7) =(4)×(6) ÷100	種別		工種		費目	
						工種 (2)	種別 (3)	細別 (4)	数量 (5)	進捗率(6)= (5)÷(1)×100 又は(5)		出来高 構成率(8) =Σ(7)又は (3)×(6)÷100	累計出来高 進捗率(9) (8)÷(3)×100 又は(5)	出来高構成率 (10) =Σ(8)	累計出来高 進捗率 (11)		累計出来高 進捗率 (12) Σ(9)
直接 工事費					184,110	100											7.6+0.6+9.9+5.0+…… =24.7%
土工					52,550	28.5								0.7+6.9=7.6			7.6÷28.5× 100=26.7%
	切土				17,790							0.6+0.1= 0.7	0.7÷9.6× 100=7.3%				
		砂質土	回式	(14,268) 1	6,370			3.4	(2,650) 18.6%	18.6%	3.4×18.6÷ 100=0.6						
		軟岩 (1)	回式	(11,023) 1	11,420			6.2	(200) 1.8%	1.8%	6.2×1.8÷ 100=0.1						
		盛土			34,760			18.9				0.1+0.1+ 6.7=6.9	6.9÷18.9× 100=36.5%				
		自工区流用土	回式	(24,415) 1	3,220			1.7	(2,100) 8.6%	8.6%	1.7×8.6÷ 100=0.1						
		発生土	回式	(1,951) 1	320			0.2	(1,250) 64.1%	64.1%	0.2×64.1÷ 100=0.1						
		採取土	回式	(32,758) 1	31,220			17.0	(12,900) 39.4%	39.4%	17.0×39.4 ÷100=6.7						
法面工					5,210	2.8								0.1+0.4+0.1= 0.6			0.6÷2.8× 100=21.4%
	切土法面 整形工		回式	(1,865) 1	1,400			0.7	(280) 15.0%	15.0%	0.7×15.0 ÷100=0.1						
	盛土法面 整形工		回式	(4,256) 1	2,365			1.3	(1,380) 32.4%	32.4%	1.3×32.4 ÷100=0.4						
	人張芝工		m	4,256	1,445			0.8	700 ×100=16.4%		0.8×16.4 ÷100=0.1						
擁壁工					90,740	49.3								5.2+3.8+0.9 =9.9			9.9÷49.3× 100=20.1%
	逆T擁壁		(m) 式	(151) 1	67,800			36.8	(0) 14.2%	14.2%	36.8×14.2 ÷100=5.2			※出来高延長は0であるが、床堀及び基礎工が一部 完了したため積み上げ計算の結果14.2%となった。			
	重力式擁壁				13,060			7.1			1.6+2.2= 3.8	3.8÷7.1× 100=53.5%					
		1 重力式擁壁	号 回式	(45) 1	4,230			2.3	(32) 71.1%	71.1%	2.3×71.1 ÷100=1.6						
		2 重力式擁壁	号 回式	(65) 1	8,830			4.8	(30) 46.2%	46.2%	4.8×46.2 ÷100=2.2						
	ブロック 積擁壁		回式	(528) 1	9,880			5.4	(85) 16.1%	16.1%	5.4×16.1 ÷100=0.9						
函渠工					19,010	10.3								4.0+1.0=5.0			5.0÷10.3× 100=48.5%
	1 号 函渠工		式	1	12,080			6.5	62.2%	62.2%	6.5×62.2 ÷100=4.0						
	2 号 函渠工		式	1	6,930			3.8	25.4%	25.4%	3.8×25.4 ÷100=1.0						

工 事 月 報

工 事 名		〇〇地区〇〇工事			請負者名		〇〇建設(株)		平成〇年〇月〇日
工 種	種 別	細 別	単 位	契約数量	出 来 高 数 量			累 計 出来高 %	記 事
					前 期 迄	今 期	累 計		
直 接 工 事 費								24.7	
土 工								26.7	
	切 土							7.3	
		砂 質 工	㎥ 式	(14,268) 1	(800) 5.6%	(1,850) 13.0%	(2,650) 18.6%	18.6	
		軟 岩 (I)	㎥ 式	(11,023) 1	0	(200) 1.8%	(200) 1.8%	1.8	
	盛 土							36.5	
		自 工 区 流 用 土	㎥ 式	(24,415) 1	(700) 2.9%	(1,400) 5.7%	(2,100) 8.6%	8.6	
		発 生 土	㎥ 式	(1,951) 1	(950) 48.7%	(300) 15.4%	(1,250) 64.1%	64.1	
		採 取 土	㎥ 式	(32,758) 1	(4,600) 14.0%	(8,300) 25.4%	(12,900) 39.4%	39.4	
法 面 工								21.4	
	切 土 法 面 整 形 工		㎥ 式	(1,865) 1	0	(280) 15.0%	(280) 15.0%	15.0	
	盛 土 法 面 整 形 工		㎥ 式	(4,256) 1	(300) 7.0%	(1,080) 25.4%	(1,380) 32.4%	32.4	
		人 工 張 芝 工	m ²	4,256	0	700	700	16.4	
擁 壁 工								20.1	
	逆 T 擁 壁		㎥ 式	(151) 1	(0) 4.5%	(0) 9.7%	(0) 14.2%	14.2	
	重 力 式 擁 壁							53.5	
		1 号 重 力 式 擁 壁	㎥ 式	(45) 1	0	(32) 71.1%	(32) 71.1%	71.1	
		2 号 重 力 式 擁 壁	㎥ 式	(65) 1	0	(30) 46.2%	(30) 46.2%	46.2	
	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁		㎥ 式	(528) 1	0	(85) 16.1%	(85) 16.1%	16.1	
函 渠 工								48.5	
	1 号 函 渠 工		式	1	13.3%	48.9%	62.2%	62.2	
	2 号 函 渠 工		式	1	6.1%	19.3%	25.4%	25.4	

出来高進捗率の算出例

工種	種別	細別	単位	契約数量	見積額 (千円)	構成率			累計出来高		種別			工種		費目
						工種	種別	細別	数量	進捗率(6)= (5)÷(1)×100 又は(5)	出来高 構成率(7)= (4)×(6) ÷100	出来高 構成率(8) =Σ(7)又は (3)×(6)÷100	累計出来高 進捗率(9) (8)÷(3)×100 又は(5)	出来高構成率 (10) =Σ(8)	累計出来高 進捗率 (11)	
直	接				190,270	100									16.2+1.4+36.5+8.8+.....	=69.4%
土	工				56,300	29.6								2.3+13.9= 16.2	16.2+29.6× 100=54.7%	
	切	土			17,800		9.4					1.9+0.4= 2.3	2.3÷9.4× 100=24.5%			
		砂質土	回式	(16,976) 1	7,850		4.1	(7,850) 46.2%	46.2%	4.1×46.2÷ 100=1.9						
		軟岩	回式	(9,604) 1	9,950		5.3	(690) 7.2%	7.2%	5.3×7.2÷ 100=0.4						
	盛	土			38,500		20.2					0.5+0.1+ 13.3=13.9	13.9+20.2× 100=68.8%			
		自工区流用土	回式	(25,366) 1	3,350		1.7	(7,560) 29.8%	29.8%	1.7×29.8+ 100=0.5						
		発 生 土	回式	(2,138) 1	350		0.2	(1,500) 70.2%	70.2%	0.2×70.2+ 100=0.1						
		採 取 土	回式	(36,514) 1	34,800		18.3	(26,600) 72.8%	72.8%	18.3×72.8 ÷100=13.3						
法	面	工			6,060	3.2								0.2+0.8+0.4 =1.4	1.4÷3.2×100 =43.8%	
	切土法面	整形工	回式	(2,126) 1	1,590		0.8	(630) 29.6%	29.6%	0.8×29.6 ÷100=0.2						
	盛土法面	整形工	回式	(4,988) 1	2,775		1.5	(2,700) 54.1%	54.1%	1.5×54.1 ÷100=0.8						
	人張芝工		m	4,988	1,695		0.9	2,300 ×100=46.1%	46.1%	0.9×46.1 ÷100=0.4						
擁	壁	工			92,300	48.5								26.0+5.8+ 4.7=36.5	36.5÷48.5× 100=75.3%	
	逆T擁壁		回式	(151) 1	67,800		35.6	(60) 73.0%	73.0%	35.6×73.0 ÷100=26.0						
	重	力式擁壁			13,060		6.9			2.2+3.6= 5.8		5.8+6.9× 100=84.1%				
		1重	力式擁壁	(45) 1	4,230		2.2	(45) 100%	100%	2.2×100+ 100=2.2						
		2重	力式擁壁	(65) 1	8,830		4.7	(50) 76.9%	76.9%	4.7×76.9+ 100=3.6						
	ブ	ロック積擁壁	回式	(609) 1	11,390		6.0	(480) 78.8%	78.8%	6.0×78.8 ÷100=4.7						
函	渠	工			19,010	10.0								6.0+2.8=8.8	8.8+10.0× 100=88.0%	
	1函	渠工	式	1	12,080		6.3	95.8%	95.8%	6.3×95.8 ÷100=6.0						
	2函	渠工	式	1	6,930		3.7	75.3%	75.3%	3.7×75.3 ÷100=2.8						

工 事 月 報

工 事 名		〇〇地区〇〇工事		請負者名		〇〇建設備		平成〇年〇月〇日	
工 種	種 別	細 別	単 位	契約数量	出来高数量			累 計 出来高 %	記 事
					前期迄	今 期	累 計		
直 接 工 事 費								69.4	〇月〇日 第〇号監督員指示
土 工								54.7	
	切 土							24.5	
		砂 質 工	㎡	(16,979) (14,268)	(2,650) 18.6%	(5,200) 30.6%	(7,850) 46.2%	46.2	
		軟 岩 (I)	㎡	(9,604) (14,268)	(200) %	(490) 5.1%	(690) 7.2%	7.2	
	盛 土							68.8	
		自 工 区 流 用 土	㎡	(25,366) (24,415)	(2,100) 8.6%	(5,460) 21.5%	(7,560) 29.8%	29.8	
		発 生 土	㎡	(2,138) (1,951)	(1,250) 64.1%	(250) 11.7%	(1,500) 70.2%	70.2	
		採 取 土	㎡	(36,514) (32,758)	(12,900) 39.4%	(13,700) 37.5%	(26,600) 72.8%	72.8	
法 面 工								49.8	
	切 土 法 面 整 形 工		㎡	(2,126) (1,865)	(280) 15.0%	(350) 16.5%	(630) 29.6%	26.9	
	盛 土 法 面 整 形 工		㎡	(4,988) (4,256)	(1,380) 32.4%	(1,320) 26.5%	(2,700) 54.1%	54.1	
		人 工 張 芝 工	㎡	(4,988) 4,256	700	1,600	2,300	46.1	
擁 壁 工								75.3	〇月〇日 第〇号監督員指示
	逆 T 擁 壁		㎡	(151) 1	(0) 14.2%	(60) 58.8%	(60) 73.0%	73.0	
	重 力 式 擁 壁							84.1	
		1 号 重 力 式 擁 壁	㎡	(45) 1	(32) 71.1%	(13) 28.9%	(45) 100%	100	
		2 号 重 力 式 擁 壁	㎡	(65) 1	(30) 46.2%	(20) 30.7%	(50) 76.9%	76.9	
	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁		㎡	(609) (528)	(85) 16.1%	(395) 64.9%	(480) 78.8%	78.8	
函 渠 工								88.0	
	1 号 函 渠 工		式	1	62.2%	33.6%	95.8%	95.8	
	2 号 函 渠 工		式	1	25.4%	49.9%	75.3%	75.3	

工 種	種 別	細 別	単 位	数 量
土 工				
	切 土			
		砂 質 土	㎡	(16,979) 1
		軟 岩 (I)	㎡	(9,604) 1
	盛 土			
		自 工 区 流 用 土	㎡	(25,366) 1
		発 生 土	㎡	(2,138) 1
		採 取 土	㎡	(36,514) 1
法 面 工				
	切 土 法 面 整 形 工		㎡	(2,126) 1
	盛 土 法 面 整 形 工		㎡	(4,988) 1
	人 工 張 芝 工		㎡	4,988

工 種	種 別	細 別	単 位	数 量
擁 壁 工				
	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁		㎡	(609) 1

工 事 履 行 報 告 書

工事名	〇 〇 地 区 〇 〇 工 事		
工 期	平成7年5月7日～平成8年3月30日		
日 付	平成8年3月1日（2月分）		
月 別	予 定 工 程 % () は工程変更後	実 施 工 程 %	備 考
7 年 5 月		2.2	
6 月		9.1	
7 月		17.4	
8 月		24.7	
9 月		38.7	
1 0 月	58 (55)	54.9	工程変更
1 1 月	73 (69)	69.4	
1 2 月	82 (79)	78.3	
8 年 1 月	90 (88)	88.5	
2 月	96 (96)	96.2	
3 月	100 (100)		
(記事欄)			

監督員	副 監 督 員

現場 代理人	主任(監理) 技 術 者